



令和8年定例会3月会議

- 『共働*感動*躍動のまちづくり』始動予算可決…2
- 3会派が町政方針を問う 代表質問……………11
- 7議員が登壇 一般質問……………15
- 地域懇談会「ほんわかせっしょん」の報告&お知らせ…24
- 議会モニター会議の報告……………26
- 久御山町シニアクラブ連合会 初の女性会長!!…28

〔表紙写真：梅雨前に溝掃除のボランティア〕

4月会議にて4月16日から349日間の会期が決定しました

6月会議の予定

- 6月12日 議案提案
- 16日 一般質問
- 18日 一般質問
- 22日 総務事業常任委員会
- 23日 民生教育常任委員会
- 25日 予算決算常任委員会
- 30日 議案採決

*日程は追加・変更することがあります。

『共動*感動*躍動のまちづくり』 始動予算可決

※「共動」は「町に関わる全ての方々が共に動くことで、大きな感動や躍動につながる」という意味を込めた町の造語です。

定例会
3月会議

本会議や予算決算
常任委員会の映像配信
久御山町議会ホームページから
録画映像がご覧いただけます。



まちづくりセンター「グランハット」

令和8年度一般会計当初予算

予算額 104億2,600万円

前年度当初予算より6億600万円の増【伸び率6.2%】

内 訳	■ 議会費	1億2,986万円	■ 総務費	18億4,057万円
	■ 民生費	31億6,913万円	■ 衛生費	6億5,970万円
	■ 労働費	49万円	■ 農林水産業費	1億8,859万円
	■ 商工費	2億8,391万円	■ 土木費	17億3,102万円
	■ 消防費	5億7,096万円	■ 教育費	14億5,115万円
	■ 公債費	3億7,562万円	■ 予備費	2,500万円

今後10年間の久御山町まちづくりの羅針盤となる「第6次久御山町総合計画」が令和8年度から始動しました。この計画に基づいて新たに築き上げたまちの将来像の言葉から引用し、当初予算を「共動*感動*躍動のまちづくり」始動予算として編成されています。

共動

活発な産業活動、職住近接のまちづくり、都市基盤の整備（みなくるタウンの整備や優良田園住宅基本方針等策定業務、地域公共交通計画の策定などに）

感動

人が信頼し合い、住み慣れた土地で安全・安心な暮らしに（防災力の強化、消防の広域化の推進や「共動*感動*躍動の地域づくり補助金」の創設などに）

躍動

未来への明るい夢を持ち、その夢に向かって挑戦できるまちに（まちづくりセンター「グランハット」開館事業や中央公園の整備、みまきっこまんなか応援まちづくり事業などに）

令和8年定例会3月会議を3月2日に開会し、議会から条例改正、議案から条例改正、町長から令和8年度当初予算や令和7年度補正予算、条例制定・改正などの提案があり、審議の結果は全て可決となりました。代表質問では3会派、一般質問では7議員が施政方針や町政課題について質問しました。なお、このページでは当初予算をはじめ、補正予算や条例制定・改正などについて掲載していません。委員会での審査内容は8〜9ページに掲載しています。

中央公園拡充整備事業

4億2,793万円

国補助2億916万円

まちの中心的な公園として機能充実を図り、人と人がつながる公園づくりを進める。また、まちのにわ構想実現のため、地域主体によるイベント開催支援をおこなうとともに、リニューアルに伴う整備工事をおこなう。

Q グラウンド代替利用について、令和7年度と同程度の利用頻度でも補助の予算金額は大丈夫か。

A 問題なく補助できる予算を組んでいる。

Q 荒見苑のトイレを増設するとのことだが、今後どういう利用を想定しているのか。

A 公園入口にあるトイレを撤去し、荒見苑にトイレを増設することにより、引き続き荒見苑利用者と、公園利用者に利用していただく。また、グラウンドからテニスコート側にあるトイレへの動線を新たに整備し、屋外でスポーツをされている方や公園利用者に利用していただけたらと考えている。



防災力強化総合事業 (ハザードマップ改定、Jアラート受信機更新)

710万円

国補助51万円

本町のハザードマップを更新し災害時における安全確保に努める。また、Jアラート受信機の更新をおこなう。

Q ハザードマップについて、どのような内容を更新するのか。

A 京都府が調査し変更となった活断層の被害想定の変更や気象情報の更新、液状化の分布図を拡大して見やすくするなど。

Q Jアラート受信機が導入から5年以上経過し、全国的に故障が散見されているため更新をおこなうとのことだが、本町では不具合はなかったのか。

A これまで不具合はなかった。国から示されているため更新するものである。



Jアラート受信機

優良田園住宅基本方針等策定業務

907万円

国補助442万円

御牧地区は、農業振興地域で、市街化調整区域であることから新たな住宅づくりが限定的となり、農業に従事する人や農業法人の従業員、農村で生活したいという多様なニーズに応えきれていない。そのため、国の優良田園住宅の建設の促進に関する法律に基づき、住宅建設を可能にすることで豊かな田園地帯の活性化をめざす。

Q 貴重な農地と既存の地域コミュニティとの調和をどのように担保していくのか。

A コミュニティを崩すような無秩序な開発にならないように、さまざまな有識者や専門家を含めた策定委員会を立ち上げ、現状および課題を整理し、どの地区に限定すれば良いか考慮した上で進める。

自治会活動支援事業

(共動*感動*躍動の地域づくり補助金、くみやまっこ全世代交流支援事業補助金)

462万円

国補助231万円

- ①共動*感動*躍動の地域づくり補助金……自治会や地域活動グループが実施する、「あたたかい絆 広がる笑顔 未来の光が輝(て)らすまち 久御山」を地域の力で実現できる交流事業などへの補助
- ②くみやまっこ全世代交流支援事業補助金……町域（もしくは町域を越える範囲）を対象に実施する、住民などが主体の地域活性化活動や事業などへの補助

Q 共動*感動*躍動の地域づくり補助金の具体的な内容は。

A 地域のきずな再構築支援事業補助金から新たに、自治会活動や地域コミュニティの活動に対して手厚く支援していくもの。補助対象は、地域の防災・防犯活動、祭りやレクリエーション、地域文化の伝承など。補助率は $\frac{4}{5}$ で、上限15万円。

子育て支援センター事業、 子ども・子育て支援給付事業 (こども誰でも通園)

176万円

国補助132万円
府補助22万円

全ての子どもの育ちを応援し、良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して多様な働き方やライフスタイルに関わらない形での支援を強化するため、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」を開始する。

Q こども誰でも通園は、こども園で実施されないのか。

A 親子にとってなじみのある、あいあいホールで実施する。

Q 利用形態は。

A 月曜日の午前・午後で1枠3人。未就園の0歳6カ月から3歳未満児が月10時間を上限とし利用可。



子育て支援センターあいあいホール

子育て支援推進事業

808万円

国補助397万円
府補助99万円

- ①こどもの居場所づくりコーディネーター配置
- ②地域子育て応援イベント
- ③地域子育て応援補助金
- ④地域子育て交流拠点支援事業
- ⑤子育て応援住宅総合支援事業費補助金

Q 地域子育て交流拠点への支援内容は。

A 子どもをまんなかとした地域づくりの拠点となる民間事業者が、「こどもの居場所」や「こども食堂」を実施する費用などを補助するもの。



討論

議案第1号 令和8年度一般会計予算 ※賛成反対両方の討論があったものを抜粋で紹介いたします

賛成

「共働*感動*躍動のまちづくり」具現化の始動予算！

まちの将来像「共働*感動*躍動のまちづくり」具現化の始動予算。みなくるタウン整備事業などの経費が予算額を押し上げたが、中期財政計画を基に基金の活用や地方債を精査し、費用対効果やスピード感のある、バランスと積極性をともなった予算と評価する。
(樋口 房次議員)

反

学童保育委託先選定と文化スポーツ事業団への補助などに疑義

学童保育の民間委託には賛成するが、委託先の選定に安全面の懸念がある。文化スポーツ事業団への指定管理料とは別に人件費相当分の補助金を支出することは、経営努力や自立性を阻害する。大手企業へのホテル立地促進助成金の合理性にも疑問がある。
(芦田 祐介議員)

対

消防の広域化、学童保育を民間委託する予算は認めない

反対理由は以下の点である。京都府北陸新幹線南部ルート誘致促進同盟会負担金、こども誰でも通園制度実施、消防指令センター共同整備負担金、中央公園拡充事業では公園利用者が荒見苑のトイレ共用、学童保育を民間委託にすることなど。
(巽 悦子議員)

議案第8号 第6次総合計画の基本構想を定めることについて

賛成

2年間をかけ多くの声を聞き計画を策定

2年間で多くの住民や企業関係者などの声を聞き策定したことは高く評価する。将来人口を2040年に1万5千人とし、人を大切に、小さなまちのメリットを生かし、「共働*感動*躍動」により「あたたかい絆 広がる笑顔 未来の光が輝らすまち 久御山」の実現に期待。
(島 宏樹議員)

反対

公民連携より職員の増員を

反対理由の第1は、住民アンケートで「重要度が高いが、満足度が低い」と感じた項目を、改善するかを示すべきである。第2は、より健全で安定した運営として公民連携を図っているが、より安定した運営を求めれば、公民連携よりも町職員の増員をおこなうこと。
(巽 悦子議員)

7年度補正予算

国補正予算に伴う事業費の増額や、事業費確定などに伴う予算の調整で、2億5,686万円を追加し、総額106億1,320万円とした。

- 全世代・全員活躍まちづくりセンター整備事業 1億3,990万円、
- 中央公園拡充整備事業 1億6,980万円、など。

条例制定など

■第6次総合計画の基本構想を定めることについて

本町の町政運営の基本となる、町の将来の目標および目標達成のための施策の大綱を示した、第6次総合計画基本構想を定める。

■議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例一部改正

最近における諸情勢の動向などを勘案し、議会議員の報酬額（月額）を見直すため、条例を改正する。

議長 381,000円⇒408,000円 一般議員 284,000円⇒300,000円

■議会委員会条例一部改正

常任委員会の名称の整合を図るための改正。広報広聴委員会が広報広聴常任委員会へと名称を変更する。

その他はP8、9の委員会レポートや、P10採決結果をご参照ください。

ひとこと言わせて! 新年度予算

3月会議にて審議した新年度予算。審議の結果、原案のとおり可決となりましたが、ここでは議員一人一人の新年度予算への思いを掲載します。



ひぐち ふさつぐ
樋口 房次 副議長

50億超の町税収入が続いているが、財政の硬直化もみられる。100億を超える当初予算には将来の安定財源確保の投資の部分もあるが、政情不安によるさらなる物価高の生活支援にも、国・府連携のもと対処してほしい。



まつもと よしひろ
松本 義裕 議長

『全国一番の子育て環境のまち』をめざす中、高校生までの医療費無償化、給食費無償化などの施策は評価する。ただ、久御山学園として取り組む中、目に見えた成果が必要。基本となる小学生への学力アップ対策も望む。



いわた よしかず
岩田 芳一 議員

新年度予算には、暮らしを支える事業が多く盛り込まれた。限られた財源の中でも、住民の安心と未来への投資が着実に進むよう、丁寧で効果的な執行を期待している。併せて成果の検証も重ねたいと考えている。



あした ゆうすけ
芦田 祐介 議員

学童保育の民間委託に伴う食の安全性への懸念、外郭団体への人件費補助の不透明な支出構造、ホテル助成における大手企業への公金投入の合理性に疑問があり、優先すべき政策との整合性も欠くため反対する。



おおみや たけし
大宮 竹志 議員

ホテル（温泉施設）ができたことによる入湯税は、消防施設の整備や観光の振興に充てられる。
今回は消防指揮車の購入に使われる。
これからも多くの方が久御山町に来ていただけますように。



うちだ たかし
内田 孝司 議員

過去最大規模となる予算にて、安全安心のまちづくりをはじめ、住民福祉の充実、全国一番の子育て環境のまちづくりが組み込まれているが、その効果が住民生活の向上に確実につながるよう、しっかりと検証したい。



たい
田井 みのる
稔 議員

地震や台風などの大規模災害を念頭に、地域コミュニティの核である自治会へ蓄電池やWi-Fi環境の整備や情報端末を設置し、自治会員が安全で安心して暮らせる「共動*感動*躍動のまちづくり」で、絆を深めよう！



しま
島 ひろき
宏樹 議員

「共動*感動*躍動のまちづくり」始動予算として全国一番の子育て環境のまちづくりやハードの整備を順調に進める予算となっている。高齢者福祉も継続して進められているがさらなる高齢者福祉の充実に期待する。



つかもと いさお
塚本五三藏 議員

物価高騰に苦しむ町民生活を支援するため、教育、給食費の無償化や子育て支援策を拡充し、真に困っている人への支援が工夫され、将来に町の力となる次世代育成への投資が盛り込まれ、本町の未来への希望を感じる内容である。



つづみ えつこ
巽 **悦子** 議員

町内に北陸新幹線車両基地と調整池の建設計画案がある。住民からは、立ち退きや資産価値の低下など不安の声がある。延伸計画N〇の表明、予算化した北陸新幹線延伸促進同盟負担金の歳出は中止すべき。



とがわ かずこ
戸川 **和子** 議員

まちづくりセンター「グランハット」開館のめどもたち、また、みなるタウン整備事業や、中央公園再整備事業など、未来に希望を託した予算編成になった。
まちづくりが大きく変わること期待する。



つじ とおる
辻 **徹** 議員

防災力のアップと高齢者福祉をしっかりと取り組むことを期待したい。
町民の皆さま方の生命、財産を守る「防災力向上」のための予算と高齢者人口の増加に見合った事業、予算の確保に努めて！



はまぐち たかし
濱口 **隆志** 議員

令和8年度は過去最大の予算規模。「グランハット」などにかかる予算が大きいわけだが、公園への防犯カメラ設置などの「安心・安全」、学校のトイレ改修などの「教育環境の改善」に対し、更なる増額をすべきでは。



なかの
中野ますみ 議員

大型開発は大きな税収が見込めるが、高齢者にも寄り添った、生きがいのある福祉町政の施行を。
地震に備えた住宅耐震改修補助は、限度額が拡充されているが、令和8年も特例措置として、町独自の補助増額を求める。

総務事業
常任委員会

REPORT
3月5日

3月会議では、総務事業常任委員会（辻徹委員長）に7議案が付託され、審査しました。議案を抜粋し、主な質疑と答弁を報告します。議案を（採決結果は10ページに掲載）

議案第14号
都市公園条例一部改正について

久御山中央公園再整備基本計画に基づき、公園の賑わい創出に必要となる施設を整備するにあたり、久御山町都市公園条例に定める建ぺい率の緩和が必要となるため条例を改正するもの。
この改正で、久御山中央公園の建ぺい率を2%から3%に引き上げる。

Q 対象の施設で当てはまるものは。
A 荒見苑のひさしや倉庫、グラウンド用倉庫や駐輪場の屋根が対象となる。

AQ なぜ3%なのか。
園内の緑地を確保するため、建築可能面積は現計画に基づき必要最小限としている。

議案第26号
京都府南部地域における消防指令業務に係る事務を処理する内部組織の共同設置に関する規約の設定に関する協議について

消防指令業務を共同でおこなう京都府南部消防指令センターの運用に向けて、京都市、宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、精華町、相楽中部消防組合および乙訓消防組合と共同して、指令業務に係る事務を処理する機関など（内部組織）を設置する必要がある。

AQ 先行運用の理由は。
A 現在、使用している指令装置が更新時期を迎えているため。

AQ 負担は公平か。
人件費に係る経費は人口割としている。

休会中の事務調査

防災（備蓄品等）について

1月27日

総務事業常任委員会は、総務部総務課に出席を求め、「防災（備蓄品等）について」の調査として、役場消防庁舎西側にある防災倉庫に赴き、保管中の備蓄品などの説明を受けるとともに、保管状況について現地視察をおこなった。

■地域防災計画について

- (1)地域防災計画は、風水害対策、震災対策、事故対策などで構成されており、その他に近年発生が懸念されている南海トラフ地震の防災対策推進計画も含まれている。
- (2)地域防災計画には、計画の目的、計画の方針、防災計画の修正、久御山町が処理すべき事項・業務などが個々具体的に定められている。

■公的備蓄について

- (1)京都府から示されている、本町における最大避難者数は2,641人とされており、この人数をもとに重点備蓄品数などが算出されている。
- (2)重点備蓄品目は、食料、飲料水のほか乳児用液体ミルク、毛布等防寒用具、簡易トイレ、凝固剤、トイレトーパー、おむつ（大人用・子供用）、女性用衛生用品などであり、発災後3日分の必要量について府、町、流通在庫（協定締結店舗の日常在庫）として確実に確保しているところである。
- (3)消防庁舎西側の町防災倉庫には、飲料水をはじめ米粉パンやレトルト白飯などの食料、毛布やブランケットなどのリネン、非常用のサージカルマスクやぬれタオル、お尻ふきなどの衛生用品などのほか、防

災資機材として発電機、蓄電池、防塵マスクや固形燃料、避難所用パーティションテント、簡易トイレなどが多数保管されている。

■主な質疑

- Q** 保管スペースが少ないのではないかと。
A 保管スペースや方法は今後の課題としたい。



防災倉庫内を視察する委員

民生教育 常任委員会

REPORT

3月6日

3月会議では、民生教育常任委員会（濱口隆志委員長）に6議案が付託され、審査しました。議案を抜粋し、主な質疑と答弁を報告します。議案採決結果は10ページに掲載。

議案第9号

特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について

令和8年度から乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）を実施するにあたって、子ども・子育て支援法に基づき、乳児等支援給付費の支給のための確認基準を定めるため、条例を制定するもの。

A Q

利用定員、職員の配置は、
あいあいホールで実施するが、定員が3名。それに対して職員は2名となっており、配置基準は十分に満たしている。



議案第10号

子どもの未来魅力化条例制定について

子どもの権利が尊重され、成長していけるよう、教育と福祉が連携し、まち全体「オール久御山」で支援することにより、全ての子どもたちの未来が魅力的なものとなるまちの実現を図るため、条例を定めるもの。

A Q

この条例のポイントは、
第3条にある基本理念。子ども権利が尊重され、生まれ育つ環境に左右されることなくその将来に夢や希望を持ち続け、他者との関わりを大切にして「生きる力」を育んでいけるよう考慮すること。

休会中の事務調査

放課後児童健全育成事業（仲よし学級）について

1月28日

民生教育常任委員会は、教育委員会、生涯学習応援課に出席を求め、「放課後児童健全育成事業（仲よし学級）について」の調査をおこなった。また、令和8年度から仲よし学級運営業務の委託先となるハーベストネクスト株式会社の方もお招きした。

■久御山町の放課後児童健全育成事業

放課後児童健全育成事業とは、小学校に就学している児童で、その保護者が働いているなどの理由で日中に家庭にいない場合に、授業終了後、保護者に代わって適切な遊びまたは生活の場を与えて、健全な育成を図ることを目的としたもの。

久御山町では「仲よし学級」と呼び、町立小学校などに就学する1年生から6年生までの児童が対象で、その施設は「御牧仲よし学級」「佐山仲よし学級」「東角仲よし学級」の3つである。

■民間委託への流れ

仲よし学級の運営については「久御山町放課後児童健全育成施設の運営のあり方検討委員会報告書」により、指導員の人手不足、質の確保などの課題が示され、民間委託による運営について早急に検討をおこなう段階であるとの提言を受けた。

検討の結果、直営での運営は令和7年度で終了し、選定を経て、令和8年4月1日からはハーベストネクスト株式会社に民間委託することとなった。

■ハーベストネクスト株式会社からの説明

運営組織体制が強化され、御牧、佐山、東角の各学級に主任指導員を配置、更にその上に統括責任者を置く。

入社時には、接遇マナー、危機管理マニュアル、コンプライアンスなどの研修、また同様の研修を毎年1回おこなう。

出欠の変更連絡、お迎え時間の変更などの保護者との連絡、入退室管理などはアプリ「コドモン」を用いる。また、学校休業日のイベントとして、スポーツリズムトレーニングなどが予定されている。

■主な質疑

Q 指導員がハーベストネクスト株式会社に移られる場合の労働条件や賃金については。

A 個別に面談をおこなっており、現在の雇用状況を最大限考慮する。

3月会議 全議案の採決結果

賛否が分かれた議案

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(注) 表中の○および×は、○=賛成討論、×=反対討論をおこなっています。

議案/議員	日本共産党		公明党		くみやまみらい			@くみやま			会派に属さない議員		結果			
	巽悦子	中野ますみ	岩田芳一	戸川和子	島宏樹	松本義裕	辻徹	濱口隆志	内田孝司	樋口房次	大宮竹志	田井稔		塚本五三藏	芦田祐介	
8年度当初予算	一般会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	国民健康保険特別会計（事業勘定）	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険特別会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
計画	第6次総合計画の基本構想を定めることについて	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険条例一部改正	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	子育て支援センター条例一部改正	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険税条例一部改正	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	都市公園条例一部改正	○	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
放課後児童健全育成施設の設置及び管理に関する条例一部改正	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
7年度補正予算	一般会計（第6号）	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	-	×	可決
	水道事業会計（第4号）	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	-	○	可決
その他	京都府南部地域における消防指令業務に係る事務を処理する内部組織の共同設置に関する規約の設定に関する協議について	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※松本議長は、賛否同数以外は採決に加わりません。

全員賛成の議案

8年度当初予算	三郷山財産区特別会計	7年度補正予算	国民健康保険特別会計（事業勘定）（第3号）
	下水道事業会計		三郷山財産区特別会計（第2号）
委員会提出	議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例一部改正		介護保険特別会計（第4号）
	議会委員会条例一部改正		後期高齢者医療特別会計（第2号）
条例	こどもの未来魅力化条例制定		下水道事業会計（第4号）
	火災予防条例一部改正		
	消防団員等公務災害補償条例一部改正		
	常勤の特別職の給与に関する条例一部改正		
その他	和解及び損害賠償の額を定めることについて		

3会派が町政方針を問う

代表質問

定例会3月会議では、町長の施政方針演説を受けて、3人の議員が会派を代表して代表質問をおこないました。

質問者	質問項目	一括質問	ページ
公明党議員団 いわた よしかず 岩田 芳一 議員	①町長の政治姿勢	一括質問	P12
くみやまみらい はまぐち たかし 濱口 隆志 議員	①令和8年度施政方針及び令和8年度の取り組み ②令和8年度予算	一括質問	P13
@くみやま ひぐち ふさつぐ 樋口 房次 議員	①『みなくるタウン』	一括質問	P14

各議員の写真の下にあるQRコードを読み込むと、代表質問の動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

令和8年度 各分野の重点施策（町長の施政方針より）

- ①安心して子どもを産み育て、豊かな心を持った人を育む
- ②「活気」と「魅力」があふれ、ふるさと意識が根付く
- ③助け合い、支え合い、誰もがいつまでも健康で幸福に暮らす
- ④人と人、人と自然がつながり共生する
- ⑤機能的で持続可能な都市基盤整備
- ⑥地域ぐるみで安全・安心な都市機能
- ⑦多様な主体がともに考え、ともにつくる信頼

一括質問 議員の質問時間の制限はなく、質問回数は2回まで。
(代表質問は全て一括質問でおこなわれます)

定例会の映像配信

久御山町議会ホームページから生中継と録画映像がご覧いただけます。



議会だより・会議録はこちら

久御山町議会

検索



公明党議員団
いわた よしかず
岩田 芳一
動画はこちら

◆町長の政治姿勢

Q 令和7年度、
町長の総括の考えは

A 積極的にまちの未来
への投資を進めた

質問

第5次総合計画の最終年度となつた令和7年度を振り返り、施策の進展や町としての節目の受け止めに加え、世界情勢や災害、物価高騰など、住民生活に影響があった1年を踏まえた町長の総括の考えは。

町長

令和7年度は、「全国一番の子育て環境のまち」の推進をはじめ、全世代・全員活躍まちづくりセンター「グランハット」や、新市街地みなくなるタウンの整備、中央公

園の再整備など、新たなにぎわいを生む交流拠点を整備することで、積極的にまちの未来への投資を進めた。



全世代・全員活躍まちづくりセンター「グランハット」建設中

質問

令和8年度の安全・安心の強化策について、地域ごとに少人数で気軽に参加できる小規模防災ワークショップや、若い世代や忙しい方でも参加しやすいオンライン防災講座、そして、地域で防災を支え人材を育てる地域防災サポーター制度のような仕組みも有効では

ないかと考える。

こうした取り組みが広がれば、地域の防災力が高まるだけでなく、住民の皆さまが自分たちの地域を自分たちで守るという意識を持つきっかけにもなる。住民参加の幅を広げる方向性について、町長の考えは。

町長

自治会などへの防災に関する出前講座をはじめ、自主防災組織の活動に対する支援、地域で活躍いただく防災士の養成など、地域の防災力の向上に努めてきた。

さらなる地域防災力の向上には、自主防災リーダーの存在が欠かせないことから、防災士との連携を進めることで、自分たちの地域を自分たちで守るという意識醸成を進めたいと考えている。

質問

令和8年度に向けて、安心して暮らせるまち、子どもたちが夢を描けるまち、地域が支え合うまち、働く場があるまちなど、久御山町の未来に対して、町長が描いておられるビジョンは。

町長

久御山町に関わる全ての人によ

つて、「あたたかい絆」が育まれ、信頼やつながりの輪により「広がる笑顔」が生まれ、誰もが将来に明るい夢や希望を描き、その夢に向かってチャレンジできる「未来の光が輝らすまち 久御山」を、共動*感動*躍動の言葉とともに、住民の皆さまや事業者の皆さま、そして、職員とともに、輝ける未来の創造に向けてまい進したいと考えている。



避難所訓練の様子



くみやまみらい
はまぐち たかし
濱口 隆志
動画はこちら

◆令和8年度施政方針及び令和8年度の取り組み

Q 新設される地域づくり補助金へ町長の思いは

A 地域活動から次代に誇れるまちを創造したい

質問

3月会議で上程されている「久御山町こどもの未来魅力化条例」、この条例の趣旨や目的は。

教育長

本町では、就学援助率が全国に比べて高く、生活困窮家庭の児童に対する支援と教育が重要な課題。子どもや子育て家庭を取り巻く環境は急速に変化しており、子どももその抱える困難は深刻化している。このような状況の中、

条例を制定した。

基本方針において、「こどもが健やかに育つことができるための環境を整えること」、「教育、福祉、保健分野において十分に連携を図り、一体的な取り組みをおこなうこと」、「こどもたちの課題の早期発見、早期支援を図ること」を掲げている。

質問

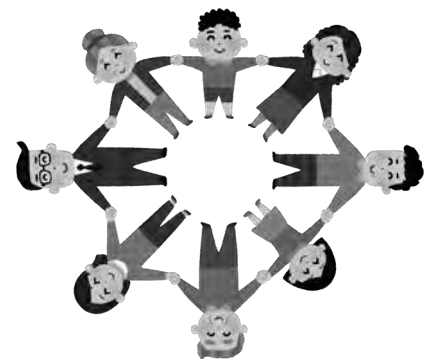
3年にわたって実施されていた地域のきずな再構築支援事業補助金は今年度で終了となった。

来年度から新たに、(仮称)共動*感動*躍動の地域づくり補助金が創設される予定とのことだが、この補助金に対する町長の思いは。

町長

この補助金により、地域のきずな再構築支援事業補助金で生まれた地域の活動の芽を育てたい。

第6次総合計画において本町が掲げるまちの将来像は、「あたたかい絆 広がる笑顔 未来の光が輝らすまち 久御山 く共動*感動*躍動のまちづくり」であり、この将来像を実現することによって、「次代に誇れるわがまち『くみやま』」を創造していきたい。



◆令和8年度予算

Q グランハットの開館セレモニーは

A 令和9年3月7日に実施したい

質問

久御山町全世代・全員活躍まちづくりセンター、愛称「グランハット」について、工期の遅れがあったものの、令和8年度開館をめざし、工事が進められている。

令和8年度には開館セレモニーが予定されているが、どのようなものになるのか。

町長

今年の12月28日に完成する予定。施設完成後、備品の搬入などを進め、令和9年3月7日に竣工式およびオープニングイベントを実施したいと考えている。

当日は記念式典やピアノのピアニストによるミニピアノコンサートの開催を予定しているほか、多くの住民の皆さまにステージに上がっていただけるような仕掛けをつくるとともに、ホール以外の各室を活用し、子育てや食育・福祉・町の魅力発信に資する事業を検討している。



工事が進み、グランハットの形を現しつつある



@くみやま
ひぐち 房次
ふさつぐ
樋口 房次
動画はこちら

◆『みなくるタウン』

Q 『みなくるタウン』に
かける町長の思いは

A 明るい未来のまちづく
りに寄与すると確信

質問

『みなくるタウン』事業の成否は、人口の維持と地方自治体の持続可能性という2つの課題の解決策として大きなウェイトを占める事業である。

令和8年度予算には関連予算として5億2899万円を計上しているが、事業の進捗にコロナ禍などによる滞りはしないのか。

また、地権者の合意形成と同意の取り付けはどうなっているのか。

町長

産業立地促進ゾーン第1期整備地区は、コロナ禍の令和2年8月にまちづくり協議会が設立されたため、地権者総会の書面議決を余儀なくされたが、地権者の合意形成については、個別に丁寧な説明をおこなない、着実に進めることができ、遅れて取り組んだ第2期整備地区と併せて、令和8年度上半期の本組合設立をめざし、現在、京都府へ認可申請の手続きをおこなっている。

質問

住街区エリア全体の見込みとして、1500人程度の人口増をめざしているが、どのような住街区形成のイメージなのか。

また、第1期、第2期の産業立地促進ゾーンに進出を希望する事業所の動向は。

町長

住街区促進ゾーン先行エリアは、職住近接のまちづくりを進めており、若い世代が望む購入価格帯や規模を考慮した住宅開発を進める。

また、新たな住宅市街地の形成を進める『(仮称)まちなみガイドライン』の作成にも取り組む。



『みなくるタウン』予定地を望む

進出希望企業については、町内外から多くの企業に興味を持っていただいている。第2期整備地区については、優先交渉企業の選定に向けた審査が進められ、第1期整備地区についても、企業募集が実施される。

地権者、業務代行予定者、商工会、京都府、本町で構成する審査会を立ち上げ、新たなものづくり産業拠点の創出、農業と連携した産業立地、既存工業地との連携など地域の活性化といったまちづくりのコンセプトと照らし合わせ、長期にわたり活躍していただける企業を総合的に判断し審査している。

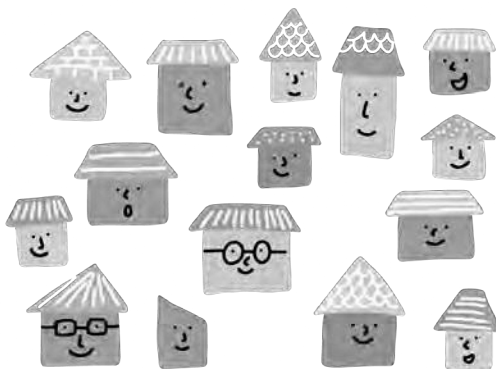
質問

『みなくるタウン』事業は町史始まって以来の巨大プロジェクトだが、事業にかかる町長の思いは。

町長

この事業は、共動*感動*躍動のまちづくりの実現に向けた重要なピースのひとつと位置づけている。完成後は、安定的な税収が見込まれるため、より住みやすいまちの発展へとつなげ、明るい未来のまちづくりに寄与すると確信している。

「みんながくる」と「ミラクル」で
みなくるタウン！





一般
質問

ここが聞きたい

7議員が
登壇

一般質問は、希望する議員（議長以外）がおこなうものです。
今回は、7議員が行政全般について町長などに質問しました。

質問者	質問項目（質問方法）	ページ
つかもと 塚本 いさお 五三藏 議員	①在宅介護する介護者へのリフレッシュ支援 ②高齢者の日中独居者への支援とサービス	一問一答 P16
あした 芦田 ゆうすけ 祐介 議員	①教育委員会の組織体質 ②ふるさと住民制度	一問一答 P17
しま 島 ひろき 宏樹 議員	①のってこ優タクシー ②令和8年度久御山町高齢者福祉	一問一答 P18
おおみや 大宮 たけし 竹志 議員	①御牧地域の活性化	一括質問 P19
たい 田井 みのる 稔 議員	①こども園の保育・教育 ②自治会活動への支援	一問一答 P20
なかの 中野 ますみ 議員	①小規模事業者の現状 ②公共交通のってこタクシー	一括質問 P21
たつみ 巽 えつこ 悦子 議員	①施政方針 ②北陸新幹線南部延伸計画	一問一答 P22

各議員の写真の下にあるQRコードを読み込むと、一般質問の動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

一括質問 議員の質問時間の制限はなく、質問回数は2回まで。

一問一答 一つの事項を深く掘り下げて何度でも質問できる。議員の質問時間は30分以内。

定例会の映像配信

久御山町議会ホームページから生中継と録画映像がご覧いただけます。



議会だより・会議録はこちら

久御山町議会 検索



つかもと いさお
塚本五三藏
動画はこちら

◆在宅介護する介護者へのリフレッシュ支援

Q 激励金の増額と対象者の拡充を求めた結果は

A 要介護2で延べ5日以上で1万5千円を給付

質問

令和5年9月会議で、介護者家族への激励金の増額と対象者の拡充を求めた際「良い方向性を見出す」という答弁であった。在宅介護者へのリフレッシュ支援の状況は。

民生部長

要介護2の認定を受けた高齢者を在宅で介護している家族に、ショートステイなど短期間の宿泊を伴うサービスを利用し、介護者自身にリフレッシュいただく場合、

延べ5日以上の利用に対し、1万5千円を給付する。
令和6年度は5家族、7年度は6家族が利用。



◆高齢者の日中独居者への支援とサービス

Q 寄り添いと安心感と尊厳に向き合う施策は

A 課題解決に向けた意味のある計画策定にする

質問

高齢者の日中独居とは、家族と同居し、日中は一人で過ごす状態を指す。本町は、同居家族がいる場合、支援は「必要ない」と判断しているのか。

民生部長

安否確認を趣旨とした制度では一日のうちいずれかの時間帯で、お互いを確認し合える人がいることになるため、24時間独居になる一人暮らしと同じサービスの利用対象とならない場合もある。

質問

国は核家族を危惧しておきながら、同居家族がいると行政サービスを受けられない矛盾がある。利用できる制度があまりに少なく不公平感があるのでは。

民生部長

家族が夜勤で、深夜に誰もいない状況は、朝から夕方にかけて独居になるより、周囲の目や支援が届きにくくなるのが想定され、対象となる事例もある。
家庭の状況をよく確認し、個々の事例により課題解決していくよう適切な判断と対応に努めている。

質問

厚労省通達の「同居家族等がいるのみを判断基準としない」旨を真摯に受け止め、第11次高齢者保健福祉計画では、日中独居者に寄り添いと安心感や尊厳に向き合う

施策を盛り込んで。

民生部長

日中独居者の課題は、策定中の第11次高齢者保健福祉計画で状況を捉え、課題解決に向けた計画となるよう策定する。

質問

高齢者が困った時に相談する窓口および転倒や誤嚥、急病時などのためのシルバーホンの設置は。

民生部長

公共施設に地域包括支援センターのチラシを配架し、役場内でも表記を分かりやすくする。
困った事があれば、地域包括支援センターや福祉課に相談されるよう周知・啓発に努める。
またシルバーホンは、生活実態が一人暮らしと同じ場合などは設置し、今後も状況をよく聞き取り、適切に設置の可否を判断して対応する。





あしだ ゆうすけ
芦田 祐介
動画はこちら

◆教育委員会の組織体質

Q 消火器具庫の施錠は、消防法令違反では

A 学校側に指導をおこない、是正された

質問

町の社会教育委員長が自身のブログにテレビ番組のアップロードを呼びかけていた。これは、著作権法違反となる可能性があり、社会教育委員としてあるまじき行為である。

当該委員の資質に問題があるのでは。

教育次長

指摘を受けて当該箇所は削除された。当該委員に著作権法の認識不足があったことは否めないが、長年にわたり社会教育の推進に尽

力されてきたので、資質に問題はない。

質問

中学校の校内に立ち入ったときに、消火器具庫が南京錠で施錠されているのを確認した。

消防法令では、「消火器具は使用に際して容易に持ち出すことができる箇所に設置すること」とある。

学校側は、なぜ、南京錠で施錠したのか。

本件については、町消防本部に通報したが、その後の対応は。



南京錠で施錠されていた消火器具庫(久御山中学校校舎内)

教育次長

いたずら防止のために南京錠で施錠したと聞いている。

消防長

通報を受けて、状況を確認した。学校側には是正指導をおこない、す

ぐに南京錠を外された。

質問

なぜ、南京錠で施錠するという発想になったのか。

いたずら防止であれば、生徒に教育的指導をおこなうべきでは。

教育次長

議員の言われるとおりである。なぜ施錠という発想になったのかはわからない。

◆ふるさと住民制度

Q ふるさと住民登録制度モデル事業のタイプは

A 後発型のタイプBで申請した

質問

総務省の資料には、関係人口施策を積極的に進めている先行型のタイプAと後発型のタイプBがあるが、町はどちらのタイプか。

総務部長

本町はタイプBが適当であると考え、総務省が公募したモデル事業に申請した。

質問

申請したということであるが、いつ決まるのか。選定された場合、予算措置や体制整備は、どのように想定しているのか。

総務部長

3月上旬過ぎには結果がわかると思う。アプリの利用もあるのでシステム利用料などの予算措置が必要と考える。アプリの周知、担い手サポート、システム運用体制も必要になる。



総務省HPより



しま 島 ひろき 宏樹
動画はこちら

◆のってこ優タクシー

Q のってこ優タクシーの登録に出向けないか

A 出張対応は具体的な手法などを検討する

質問

のってこ優タクシーは令和元年5月から運行を開始。利用登録すれば設置されている停留所間を制限なく自由に移動でき、料金は200円。

この外出支援事業は、本町独自のサービスで、全国的にも優れた大変すばらしい施策である。

現在の登録者の状況および内訳は。

民生部長

令和8年1月末現在の累計登録者数は、808人。内訳は65歳以上の移動困難者385人、子育て

区分96人、交通区分で自動車運転免許証の自主返納者は125人、障害区分で202人。

質問

高齢者で移動困難者の多くが医療機関への移動ニーズが大きい。医療機関への停留所増設の考えは。

民生部長

停留所設置は、のってこタクシーの基準で設定されている。

質問

登録したくてもできない方も高齢者の中におられる。待ちの体制ではなく、行政から出向いたり、出前講座をするなどの行政サービスはできないのか。

民生部長

提案の出張対応については、具体的な手法などを検討する。

◆令和8年度久御山町高齢者福祉

Q 本町の高齢者福祉に対する町長の思いは

A 高齢者に優しい施策を知恵を出して盛り込む

質問

現在、団塊の世代が全て高齢者になったが、本町の65歳以上の高齢者の人数は。

民生部長

65歳以上4626人、うち75歳以上2990人で65歳以上の割合は30・76%。

質問

高齢者に対する本町独自のサービスはどのようなものがあるのか。

民生部長

高齢者の外出支援策として、70歳以上を対象とした京都京阪バスや、のってこタクシー、のってこ優タクシーに利用できる高齢者バス回数券などの購入費補助、長寿お祝い券の支給、一人暮らし高齢者を対象にしたシルバーホンや火災警報器具の貸与事業などや、はり・きゅう・マッサージ費の助成、シルバー人材センターやシニアクラブ連合会への補助、荒見苑のサークル活動への補助などをおこなっている。

質問

現在めざしている「全国一番の子育て環境」と併せ、「日本一元

気なお年寄り暮らし「まち」をぜひめざすことを期待する。

最後に信貴町長がめざす本町の高齢者福祉に対する思いは。

町長

高齢者施策は、団塊の世代が75歳を超え高齢者数がピークを迎える中で、全世代・全員活躍のまちづくりをめざす本町の施策の最重要課題の施策の一つであり、高齢者に優しい施策を、今後とも知恵を出して、財源を削りながら、盛り込んでいきたい。



のってこ優タクシー



おおみや たけし
大宮 竹志



動画はこちら

◆御牧地域の活性化

Q 農村への居住を促す仕組みづくりと将来像は

A 農村で豊かな生活を送る姿を思い描いている

質問

豊かな農地を有し、都市近郊農業で発展してきた久御山の農業。本町の農業の現状と、これからの農業施策について聞く。

事業環境部長

町内の総農家数は、全国と同じで減少しているが、認定農業者数は増え、意欲の高い農家や若い世代も多い。営農の規模やスタイルは多様である。

町長

農業経営安定のため、これまで積極的な農業施策を実施してきた。

新年度、新たに高温対策営農支援事業として、農作物の保冷庫や予冷庫、作業施設の空調設備、地温上昇抑制マルチ、高温被害防止の殺菌剤などを補助対象とすることを考えている。

また畑かん（※1）ポンプ更新時の補助率を20%から40%に引き上げるとともに、農業用機械等購入時の補助事業は、5年に一度から3年に一度の申請可へと制度の見直しを図る。

さらに、京都競馬場や町内大型店舗からの排出物を堆肥化する研究などをおこなう。

質問

人口の減少は、営農や地域づくりに影響を及ぼす。

生まれ育った地元で暮らしたいと思っても、市街化調整区域では、厳しい土地利用規制により、新たな住まいづくりが限定的である。

新規施策における市街化調整区域の農村地域への居住を促す仕組みづくりとはどういうものか。

事業環境部長

国の優良田園住宅の建設の促進に関する法律に基づき、町が独自に基本方針を定めて、都市計画法

や農地法の規制を緩和し、住宅建設を認定する仕組みを活用する。営農に支障がないこと、接道や上下水道の敷設があることなど、要件を整理して検討する。

町長

多様な「新・農村人（アグリビジネスパーソン）」（※2）が本町に根付き、家族と共に農村環境で豊かな生活を送る姿を思い描いている。

御牧地区で生まれた子どもたちが地元で居住できることや、緑豊かな生活を求めて本町へ移住する方々が増えることに期待する。

10年後、20年後には単なる住宅地ではなく、豊かな自然環境と調和したゆとりある農村住宅区域として、活気あるコミュニティが再生されることをめざし、本事業を本町の農業・住環境・地域経済を一体的に活性化させるための重要な礎とし、誰もが住み続けたいと思える田園都市・久御山の未来を力強く構築したい。



役場5階から御牧地域を望む

※1 「畑かん」とは

畑地灌漑の略称。農業用水を供給するための設備。久御山町では地下水を汲み上げている。

※2 「新・農村人（アグリビジネスパーソン）」とは

農村の発展を図る新規就農者や農業者の家族、また農業法人の従業員、さらにスマート農業のスキルを持つ人。

集落の担い手として、緑豊かな生活を求めて都市部から移住する人、家庭菜園を楽しみながら、ゆとりあるライフスタイルを求める自然環境型の居住希望者。



みのる たい 田井
動画はこちら

◆こども園の保育・教育

Q こども園の日々の生活の流れの見直しは

A 1号認定の登園時間の変更を検討していく

質問

保育料の無償化など保護者負担が軽減される中、8年度のこども園の入園募集結果は、さやま、とみぞみこども園の5歳児クラスでは、保育を必要としない1号認定児童が1クラス30人中2人と大変少ない。保育を必要とする2号認定児童との保育・教育はどのようにされているのか。

教育次長

保護者の生活形態などによって、園児の在園時間であったり、入園時期や登園日数に違いがあるので、園児一人一人の状況に応じた教

育・保育の内容、その展開について工夫をして実施している。

質問

1号認定と2号認定の児童のこども園の生活を見直す考えは。

例えば、1号と2号では登園時間に違いがあるが、登園時間を合わせるなど日々の生活の流れを見直しては。

教育次長

預かり保育の実施や給食回数が増やすなど、保育・教育の内容の充実を図っている。

登園時間については、子どもの生活リズムや心身の発達を考慮し、登園時間の変更を検討する。

子どもの利益を最優先に、保護者のニーズに合わせた子育て支援をおこなっていく。



こども園入園の手引き

◆自治会活動への支援

Q 情報発信・共有できるシステム導入に支援を

A いろいろな要望に伴走支援をしていく

質問

自治会役員などとの連絡調整や、自治会員への情報の伝達、情報共有が大変負担である。集会所への情報環境整備などにかかる費用の補助制度があるが、費用面はもとより、利活用のノウハウがなく、環境整備をためらう。町が携帯電話のLINEなどで情報を発信されているシステムを自治会でも導入できるような支援や、携帯電話で自治会の情報を自治会員で共有できるようなシステムのノウハウなどソフト面での支援をお願いできないか。

総務部長

自治会の中で、既に携帯電話の既存のアプリなどを活用しながら、会員同士で情報共有しているという話も聞いている。

自治会からのさまざまな相談に

については、引き続き、しっかりと支援をおこなっていききたい。ソフト面では、京都文教大学のKminK（クミンク）との連携により、自治会向けのスマホ教室を実施した実績もある。システム導入のノウハウや具体的な導入、補助金制度、ソフト的な支援など、いろいろな要望などに対し、伴走支援をしていく。



久御山町のLINEを活用した情報発信



なかの
中野ますみ

動画はこちら

◆小規模事業者の現状

Q 小規模事業者への町の支援は

A 資金繰りや雇用確保施策などを実施

質問

小規模事業者は非常に厳しい状況に置かれているが、以下4点について本町の認識と支援は。

- (1)物価高とコストアップにおける経営環境の厳しさ。
- (2)価格転嫁が困難である。
- (3)資金繰りへの影響。
- (4)人手不足について。

事業環境部長

1点目は、国の交付金を活用した水道基本料金の減免、生活応援ギフト事業、事業者のコスト軽減措置や町内の消費を刺激するなど、

支援策を講じている。

2点目は重要な課題。京都産業21が実施する京都府よろず支援拠点の経営支援員、また中小企業診断士による経営サポートを活用し、適正な価格転嫁を実現していただきたい。

3点目は、中小企業低利融資制度（マル久制度）による保証料の補給、それに対する利子補給を実施し資金繰りの悪化を防ぐ。

4点目は、産業振興における大きな課題と認識している。就域ディレクター事業をおこない求職者の町内中小企業見学バスツアー、雇用につなげることを目的としたセミナーを実施している。

質問

令和8年1月1日改正施行、旧下請法の新名称、中小受託取引適正化法（略称「取適法」）で、小規模事業者も対等で公平な取引が実現できるか。

事業環境部長

取適法は事業者間の取引を適正に進められるよう、例えば、買ったときや一方的な代金の決定の禁止、手形による支払いの原則禁止が盛り込まれている。この法施行

により小規模事業者は大きな恩恵が受けられるのではと考える。



求職者の町内中小企業見学バスツアーの様子

◆公共交通のつってこたクシー

Q 停留所までの距離の縮小は

A 町内居住者を網羅できるように設置

質問

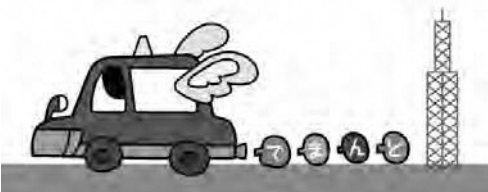
第6次総合計画（原案）パブリックコメントでは、公共交通機関の意見に対し「地域の皆さまが利

用していただけるような仕組みづくりに努め引き続き取り組みを進めていきます」と回答している。つってこたクシー利用者のニーズに応え、予約時間の短縮や停留所までの距離の短縮、停留所増設の取り組みは。

都市整備部担当部長

予約時間については、人材不足の中で限られた台数・乗務員が確実に配車をおこなうために必要な時間で、短縮は難しい。予約については1週間前から可能。

停留所までの距離は町内居住者を網羅できるように設置し、運行開始当初の50力所から65力所に増設。路線バスの補完的役割を担う交通システムとして現在の設置箇所や距離は妥当である。





たつみ 悦子
 えつこ 悦子
 動画はこちら

◆施政方針

聴力検査を健康診査項目に追加できないか

A 厚生労働省の基準に定められていない

質問

国民健康保険の「特定健診」や後期高齢者医療保険の「健診」で検査項目に違いはあるのか。

民生部長

国民健康保険に加入する40歳から74歳までの人を対象に実施する特定健診と、75歳以上の後期高齢者を対象に実施する健康診査がある。特定健診は、生活習慣病に着目し、早期発見、対策につなげる事が目的となっており、健診は、特定健診に加え、フレイル予防、加齢に伴う心身の虚弱の予防に着

目する内容となっている。

検査項目は、ほぼ同様の内容だが、質問票（事前記入）では、後期高齢者健診の方には、「周りの人からいつも同じことを聞くなど、物忘れがあると言われるていますか」などが盛り込まれている。

質問

加齢性難聴について、聴力検査がないが健診項目に追加できないのか。

民生部長

特定健診の健診項目は、厚生労働省の基準に定められており、聴力検査はその項目に入っていない。また健診実施に係る国庫補助の対象にもなっていない。

質問

受診票の項目に、「聞こえにくい」の項目を追加することは可能か。

国保健康課長

今の健診の方法で、聴力の衰えに気づくことは可能と考えている。



◆北陸新幹線南部延伸計画

Q 車両基地建設による影響はないのか

A 効果や課題も含めしっかりと物言っていく

質問

12月議会で「着工5条件」について、「本町には鉄軌道がないため久御山町からは声が上がられないのでは」という質問に対して、答弁では「京都府も自治体である」「町の意向を伝えなければならぬ」とのことであった。町の意向は今も同じなのか。

総務部長

京都府は沿線自治体の一つで、環境アセスメントの対応についても、これまでから町として意見は言っている。

これまでの見識・認識とは変わらないと考えている。

質問

車両基地候補地となっている巨椋池干拓地（干拓田）は、洪水時に水を溜められる場所である。

町長は、町民の代表である。久御山町に車両基地がなぜ必要なのか。また、それによる影響はないのか。

町長

新幹線のプロジェクト自体は認めている。通り方（南部延伸計画）が、決定となるのであれば、効果や課題も含め、しっかりと物言っていく姿勢で臨みたい。



北陸新幹線敦賀車両基地のイメージ (R7年3月25日開催の自治体説明会資料より)

◆着工5条件 = 整備新幹線の基本条件 =

- ①安定的な財源見通しの確保
- ②収支採算性
- ③投資効果
- ④営業主体としてのJRの同意
- ⑤並行在来線の経営分離についての沿線自治体の同意

国土交通省「整備新幹線について」より

ようこそ久御山町へ〔視察研修受け入れ〕

久御山町議会では、全国各地の議会から視察研修に来られ、対応しています。

研修の内容はさまざまで、この号での紹介は3件とも議会の取り組みについてでしたが、子育て支援やのってこタクシーなど、町の施策について聞きに来られることもあり、その際は町の職員にも対応を依頼しています。

本町議会も、他議会や他自治体の取り組み事例を学び議会活動へ生かすため、委員会や会派などで視察研修をおこなっています。随時議会だよりにて報告してまいります。

きつきし 大分県杵築市議会 広報広聴委員会の皆さま ～議会だよりについて～

1月14日、大分県杵築市議会の広報広聴委員会（酒井委員長ら6名）および事務局の視察研修を受け入れました。

本町からは、議長と広報広聴常任委員が出席し、議会だよりや議会モニター制度の取り組みなどについて意見交換をしました。



じょうようし 京都府城陽市議会 議会運営委員会の皆さま ～通年議会について～

1月22日、京都府城陽市議会の議会運営委員会（小松原委員長ら7名）および正副議長、事務局の視察研修を受け入れました。

本町からは、議長と議会運営委員が出席し、通年議会について意見交換をしました。



とういんちょう 三重県東員町議会議員の 皆さま ～通年議会について～

2月3日、三重県東員町議会議員4名の視察研修を受け入れました。

本町からは、正副議長と議会運営委員会の正副委員長が出席し、通年議会について意見交換をしました。



住民と議員の

久御山町議会地域懇談会

ほんわか せっしょん!

with
Farmer

農業従事者のみなさんと

2月19日
クロスピアくみやま

久御山町議会は、〈農業〉をテーマに、2月19日／クロスピアくみやまにおいて、今年度の久御山町議会懇談会『ほんわかせっしょん!』を開催しました。10名の農業従事者の皆さまに参加いただき、様々なご意見や今後の課題などについて議論いたしました。その内容についてお伝えします。



いただいたご意見 (抜粋)

物価高、高温への対策をしてもらっているが、出荷野菜の価格は変わらない。経営安定は困難。

夢タワーのロゴはPRになって良いが、出荷野菜のためのビニール袋などに材料費がかかる。

耕作放棄地などについて、役場から紹介や斡旋ができないか。

夢タワーロゴ使用の補助申請が、予定数に達し終了していた。旬の時期があり考慮してほしい。

次ページへ続く

家族3人で営農しているが後継ぎがない、このままでは持たない。

畑かんの管のメンテナンスをしたいが、組合員の減少で個々の負担が増し、これからが心配。

野菜泥棒が多く、防犯カメラを設置してほしい。

営農を拡大したい人は多いが耕地が不足。農村地域を存続する計画策定が必要ではないか。

儲かる農業、農業のまちづくりをめざすなら、実務者の指導や助言が必要。

道の駅「くるくるなと」(徳島県鳴門市)など、集客力のある直売所を参考にしているか。

INFORMATION!

次回、**ほんわかせっしょん!**は、

久御山町議会では、住民の皆さまに開かれた議会をめざし、常に議会の活性化に取り組んでいます。地域懇談会『ほんわかせっしょん』はその一環として、年度ごとに開催しております。次の開催は、来年の統一地方選挙により久御山町議会も改選の年となることから、下記の日程で開催させていただきます。皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

◆**第1回** 日時／ **5月21日(木)** 19:00～21:00

場所／久御山町役場・5階コンベンションホール

◆**第2回** 日時／ **5月23日(土)** 10:00～12:00

場所／ふれあい交流館ゆうホール・2階交流ホール

- ◆どなたでもご自由に、ご都合の良い会場にお越しください。
- ◆グループに分かれて懇談会を開きます。テーマは自由です。
- ◆令和8年3月会議で決まったことを報告します。
- ◆議会へのご意見、ご提言、ご要望をお聞きます。

※手話通訳・要約筆記、保育ルームを希望される方は5月11日(月)までに議会事務局(電話 0774-45-0105 / 075-631-9996、メール gikai@town.kumiyama.lg.jp)へご連絡ください。

議会モニター会議を開催しました



2月22日 / 13:00~15:00
ゆうホール：ミーティングルーム



2月25日 / 19:00~20:00
ゆうホール：ボランティアルーム

■久御山町議会主催の議会モニター会議を開催しました。

会議内容は、

- ①議会モニターの活動、
- ②「議会だより」の編集、
- ③議会ホームページ、

のほか、日頃感じていることや疑問などについて話し合いました。

モニターさんのご意見！や疑問？ 一部紹介

議会モニターについて

- ◆モニターに参加して、初めてわかったことがあった。
- ◆議会を傍聴するのに資料がほしい。
- ◆アンケートに答えるのが精一杯なところがあった。

議会だよりについて

- ◆横文字が多いので、わかりやすい言葉を使ってほしい。
- ◆モニターの意見は反映されているのでしょうか。

議会活動について

- ◆ホームページ（で知りたい情報）を探すのに時間がかかる。SNSを活用した情報発信。
- ◆議員の定数は人口に応じた数になっているのか、なぜ定数が14人なのか。
- ◆地域懇談会（ほんわかせっしょん）は有意義なので継続していくべき。

久御山町について

- ◆北陸新幹線の延伸計画の説明 ◆国保税が高いが対策は ◆子育て全国一など、特徴のあるまちづくり ◆他の市町の先進事例の取り入れ ◆パブリックコメントについて

◆第5期議会モニターが決定しました!!

ご応募いただき、ありがとうございました。1年間どうぞよろしくお願いします。



興味・関心をもたれた記事



- 地域応援商品券発行事業。
- 町職員の給与改定と人材確保の件。
- 車両基地建設による町への影響を繰り返し紙面などに記載することでメリットデメリット含めて幅広い意見を取り入れ町の活性につながることを願う。
- 物価高対応子育て応援手当支給事業、子育て支援事業。
- グランハットの進捗状況。
- グランハットの工期延長による損害賠償。
- 社会福祉法人久御山町社会福祉協議会についての調査報告。
- 全国一番の子育て環境のまちづくり。



内容がわかりにくい

- グランハットの工期延長で負担金は増えるのか。
- 町の人口が1.5万人程度であれば、職員の人材確保など必要に感じないが。
- 3億6,025万円という多額の予算が、繰り越される背景について、「なぜ、いつまでに、どう使われるのか」をより詳細に記していただきたい。
- くみやま生活応援ギフト（商品券）の配布
- 議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例一部改正
- 久御山町社会福祉協議会の事業活動計画
- 全国一番の子育て環境のまちづくりについて
 - ・何歳ぐらいまでの子ども対象か？
 - ・高学年から中学生の遊ぶ場所は久御山にあるのか。

議会モニター「アンケート」

前号(No.181)の議会モニターさんからアンケートの回答(一部)を紹介します

その他の記事について

- 北陸新幹線延伸の件。今決まっているものを教えて欲しい。家の近くに延伸され騒音などに今後悩まされることがあるなら、わかっている範囲で町民に提示すべき。
- デジタル化による経費削減が、住民サービスの向上や避難所となる庁舎のWi-Fi環境整備に早期に還元されることを強く望む。
- 物価高騰支援は、対象を限定せず町民全体に検討する話があっても良いのではないかと。
- 敦賀の車両基地を視察されたということは、久御山に車両基地が造られる(確定している?)ことは変更の余地はないのか。
- こども誰でも通園制度は、一家族に対して、時間と回数の制限はあるのか？

★ご協力をいただきありがとうございました。
★今後も「読みたくなる」編集をめざしてまいります。

編集後記

衆議院の令和8年度予算審議では、選挙の結果とはいえ与党が議席の多数を占め、案の定、野党からは審議時間の延長を求める声が上がりました。

久御山町議会予算決算常任委員会では制限時間は無く、一人あたりの時間配分もありません。傍聴も可能ですので、ぜひお越しください。

樋口 房次

広報広聴常任委員会

委員長 大宮 竹志
副委員長 巽 悦子
委員 田井 稔

オブザーバー 松本 義裕

戸川 和子
樋口 房次
辻 徹

久御山町シニアクラブ連合会 初の女性会長!!



久御山町シニアクラブ連合会
会長 **高木 優子**さん
(林在住)

今回は、久御山町シニアクラブ連合会の会長として今年で3年目を迎える高木優子さんにインタビューしました。

シニアクラブのサークルなので入会してください

高木さんは、70歳を前に「終のすみか」として久御山町に転居しました。

初めて久御山町の老人福祉センター・荒見苑を訪問した時、麻雀サークルの入会方法をたずねたところ、「シニアクラブのサークル

なので、シニアクラブに入会してください」とのことでしたので、すぐに入会手続きをしました。そして、3年前からは昭和46年に設立された久御山町シニアクラブ連合会初の女性会長として27クラブ（令和7年10月現在の会員は1409人）のトップに立ち、精力的に任務にあたっています。



これからも一緒に活動を

高木さんは、会長を引き受けた時、「本部役員全員が会長、会員全員が役員として活動して欲しい」と会員の皆さんに伝えました。今年2月3日の文化講演会では、津軽三味線のコンサート。また2月10日には健康ウォーキングを開催するなど活発に活動を続ける高木さん。



「私を支えてくださるシニアクラブ連合会の仲間と荒見苑事務局に感謝しています。これからも一緒に頑張りたい!」という高木さんの言葉が印象的でした

(聞き手・広報広聴常任委員会)

表紙の「くみやま」を描いたのは谷口七海さん。



谷口 七海さん
(高校1年生)

表紙の題字は久御山中学校総合文化部在籍時の作品です。

久御山町で採れる作物を紹介したくて、野菜をモチーフに仕上げました。3年生で行った沖縄への修学旅行。クラスの人々と楽しく交流できたことが中学校生活の一番の思い出です。「高校では勉強をしっかり頑張ります。」と笑顔で語ってくれました。